

所 属	文化振興課
所属長	荏田 昭憲
電 話	06-6489-6385

---

## A-LAB Exhibition Vol.42「テーブルにトマト」を開催します。

---

### 1 趣旨

尼崎市では、アートスペース「A-LAB」(えーらぼ)において、身近な光景や日常生活に根ざした絵画表現を手がける二人のアーティスト、羽部ちひろと赤松加奈によるコラボレーション展を開催します。

当たり前のようにある物やありふれた景色ほど、私たちはよく見ていないものです。でもよくよく見ると、その形や色や組み合わせに、ときに驚くような偶然を見出したり、新たな発見をすることがあります。羽部ちひろは、身の回りの家具や人びとのシルエットに異国の風景をだぶらせ、見る人の視線を遠い想像の世界へと引き込みます。赤松加奈は、農業を通して肌に感じる自然や人との関係の移ろいを、新鮮な造形と色彩で切り取って私たちに見せてくれます。

少し肩の力を抜いて、二人のアーティストの視点に心を泳がせ、日常のきらめきに目を留めてみませんか。その先には、以前とは、ちょっと変わった現実が広がっているかもしれません。

### 2 概要

会 期：2月17日(土)～3月31日(日)

会 場：A-LAB(尼崎市西長洲町2-33-1)

入場料：無料

時 間：(平日) 午前11時～午後7時

(土・日・祝) 午前10時～午後6時

※休館日：火曜日

出展者：羽部ちひろ、赤松加奈

問合せ：尼崎市文化振興課

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

主 催：尼崎市

### 3 関連イベント

＜アーティストトーク＞

作品の背景や作品への思いをアーティストに聞きながら鑑賞(A-LABにて開催)

日時：2月24日(土) 午後2時～3時

定員：先着20人

申込：メール([amalove.a.lab@gmail.com](mailto:amalove.a.lab@gmail.com))にイベント名、氏名、年齢、電話番号を明記し送信

以 上

## 出展作家

### 羽部 ちひろ Chihiro Habu



私はソファやクッション、洋服など日常にあるものをモチーフに描きます。日常にある何気ない物と映画や雑誌で見た写真、SNS で投稿される非日常と感じる海外の景色なども私自身の中に蓄積されていき、それらのイメージを組み合わせ描きます。近景と遠景を一つの画面に描くことで身近なものから世界の見え方の多様性を表現できればと考え制作しています。

#### 〈経歴〉

- 1982年 札幌市出身、兵庫県在住
- 2005年 成安造形大学洋画クラス卒業
- 2007年 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了
- 2010年 京都市立芸術大学大学院博士課程（後期）満期退学

#### 〈近年の個展〉

- 2022年 「しらないはなし」 KOBE STUDIO Y3、兵庫
- 2021年 「近くから遠くへ」 gallery 301、兵庫

#### 〈受賞〉

- 2003年 第3回武井武雄記念日本童画大賞

#### 〈パブリックコレクション〉

- 岡谷市イルフ童画館
- 京都銀行

### 赤松 加奈 Kana Akamatsu



関西を中心に活動。結婚し農業をする傍ら絵を描き、また、高校やフリースクールなどで子どもたちと絵を通して交流をしてきた。農業風景の中にある生と死、そしておおらかで切実な周囲の人々の姿を描いている。

#### 〈経歴〉

- 1990年 奈良県出身、在住
- 2013年 京都造形芸術大学美術工芸学科油画コース卒業
- 2015年 京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻修了

#### 〈近年の個展〉

- 2023年 「土の声を聞き、風とあそぶ」 NEUTRAL、京都
- 2021年 「みんなの部屋」 喜多美術館、奈良

#### 〈受賞〉

- 2019年 群馬青年ビエンナーレ 2019 大賞
- 2018年 FACE 展 2018 損保ジャパン日本興亜美術賞 審査員特別賞

#### 〈パブリックコレクション〉


- 群馬県立近代美術館
- 東京 D タワーホスピタル

2024年2月17日 | 土 |  
— 3月31日 | 日 |

A-LAB Exhibition Vol.42

羽部ちひろ + 赤松加奈  
Chihiro HABU + Kana AKAMATSU

トマト テーブル  
Tomatoes on the Table



A  
LAB

注：表紙写真 (オクラ) 2023 | 右：羽部ちひろ (後に撮影) 2023

---

会期	2024年2月17日(土)～2024年3月31日(日)
開館時間	(平日) 午前11時～午後7時 (土・日・祝日) 午前10時～午後6時
会場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休館日	火曜日
入場料	無料
主催	尼崎市

---

## 開催要旨

身近な光景や日常生活に根ざした絵画表現を手がける二人のアーティスト、羽部ちひろと赤松加奈によるコラボレーション展「テーブルにトマト」を開催します。

当たり前のようにある物やありふれた景色ほど、私たちはよく見ていないものです。でもよくよく見ると、その形や色や組み合わせに、ときに驚くような偶然を見出したり、新たな発見をすることがあります。羽部ちひろは、身の回りの家具や人びとのシルエットに異国の風景をだぶらせ、見る人の視線を遠い想像の世界へと引き込みます。赤松加奈は、農業を通して肌に感じる自然や人との関係の移ろいを、新鮮な造形と色彩で切り取って私たちに見せてくれます。

少し肩の力を抜いて、二人のアーティストの視点に心を泳がせ、日常のきらめきに目を留めてみませんか。その先には、以前とは、ちょっと変わった現実が広がっているかもしれません。

---

## 関連イベント

### アーティストトーク

2024年2月24日(土) 午後2時～午後3時

作品の背景や作品への思いをアーティストに聞きながら鑑賞。

定員先着20人。メール ([amalove.a.lab@gmail.com](mailto:amalove.a.lab@gmail.com)) で申込必要。

### 【イベントに参加申込する場合】

※関連イベントは参加無料です。

申込みはメールでA-LABへ。イベント名・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記メールアドレスまでお送りください。

A-LAB メールアドレス

[amalove.a.lab@gmail.com](mailto:amalove.a.lab@gmail.com)

詳細はA-LAB ホームページ (<http://www.ama-a-lab.com>) をご覧ください。

---

広報用画像

・このプレスリリースに掲載されている画像データ(※7～10ページ参照)をプレス掲載用にご用意しております。

・下記の使用条件をご了承の上、A-LABまでお申し込みください。

使用条件：

・広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットをご表示ください。

・トリミングや画像加工などはご遠慮ください。

・アーカイブのため、後日掲載紙、URLなどをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

---

問い合わせ先

A-LAB（火曜日休館）担当：八木、松井

電話 / FAX 06-7163-7108 メール [amalove.a.lab@gmail.com](mailto:amalove.a.lab@gmail.com)

尼崎市文化振興課（平日 午前8時45分～午後5時30分）

担当：山城、藤平

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

---

作家略歴

■羽部 ちひろ（はぶちひろ）

- 1982 札幌市出身、兵庫県在住
- 2005 成安造形大学洋画クラス卒業
- 2007 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了
- 2010 京都市立芸術大学大学院博士課程（後期）満期退学



私はソファやクッション、洋服など日常にあるものをモチーフに描きます。日常にある何気ない物と映画や雑誌で見た写真、SNSで投稿される非日常とを感じる海外の景色なども私自身の中に蓄積されていき、それらのイメージを組み合わせ描きます。近景と遠景を一つの画面に描くことで身近なものから世界の見え方の多様性を表現できればと考え制作しています。

【受賞歴】

- 2003 第三回武井武雄記念 日本童画大賞

【主な個展】

- 2022 「羽部ちひろ個展 しらないはなし」、KOBE STUDIO Y3、兵庫
- 2021 「羽部ちひろ個展 近くから遠くへ」、gallery301、兵庫
- 2014 「羽部ちひろ個展 ここからみる世界」、高島屋大阪ギャラリー NEXT、大阪
- 2009 「羽部ちひろ個展」、MEM、東京
- 2008 「羽部ちひろ展」、O ギャラリー eyes、大阪
- 2007 「羽部ちひろ個展」、Gallery Den、京都

【主なグループ展】

- 2023 「30-40」、KOBE STUDIO Y3、兵庫
- 2017 「wks. 祭」、GALLERY wks.、大阪
- 2016 「作品中！アゲイン」、galerie16、京都
- 2013 「むこうスタジオのオープンスタジオ 2」、むこうスタジオ、京都
- 2013 「KYOTO STUDIO」、@KCUA、京都
- 2012 「よくばりのはじまり」、@KCUA、京都
- 2011 「むこうスタジオのオープンスタジオ」、むこうスタジオ、京都
- 2011 「in my room 3」、FUKUGAN GALLERY、大阪
- 2009 「「FIX」展」、元・立誠小学校、京都
- 2008 「ペインティングの恋人」、海岸通りギャラリー・CASO/MEM、大阪 / 東京
- 2008 「in my room 2」、FUKUGAN GALLERY、大阪
- 2008 「縋いの光景Ⅱ」、O ギャラリー eyes、大阪
- 2007 「ART AWARD TOKYO TOKYO」、行幸地下ギャラリー、東京
- 2007 「in my room」、FUKUGAN GALLERY、大阪
- 2007 「作品中」、galerie16、京都

作家略歴

【コレクション】  
岡谷市イルフ童画館  
京都銀行

作家略歴

■赤松 加奈（あかまつ かな）

1990 奈良県出身、在住  
 2013 京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科油画コース卒業  
 2015 京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻修了



関西を中心に活動。結婚し農業をする傍ら絵を描き、また、高校やフリースクールなどで子どもたちと絵を通して交流をしてきた。農業風景の中にある生と死、そしておおらかで切実な周囲の人々の姿を描いている。

【受賞歴】

2019 群馬青年ビエンナーレ 2019 大賞  
 2018 FACE 2018 損保ジャパン日本興亜美術賞 審査員特別賞  
 2018 シェル美術賞 2018 入選  
 2014 ワンダーシード 2014 入選

【主な個展】

2023 「土の声を聞き、風とあそぶ」、NEUTRAL、京都  
 2021 「赤松加奈 展 みんなの部屋」、喜多美術館、奈良  
 2021 「赤松加奈 展 ここで描く」、galerie16、京都  
 2019 「赤松加奈 個展」、フォルテック一級建築士事務所、東京  
 2019 「新世代への視点 2019 赤松加奈展」、コバヤシ画廊、東京  
 2018 「真夏の窓辺」、フォルテック一級建築士事務所、東京  
 2015 「KANA AKAMATSU」、galerie16、京都

【主なグループ展】

2023 「第 30 回 心に響く小品展」、ギャラリーヒルゲート、京都  
 2022 「テラスアート湘南 2022」、テラスモール湘南、神奈川  
 2022 「奈良・町家の芸術祭 HANARART 2022」、旧荒木邸、奈良  
 2022 「川村悦子&田嶋悦子 展 一華と夢」、ギャラリー恵風、京都  
 2022 「MESSAGE 2022」、コバヤシ画廊、東京  
 2022 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2022」、京都府京都文化博物館、京都  
 2022 「第 29 回 心に響く小品展」、ギャラリーヒルゲート、京都  
 2022 「奈良・町家の芸術祭 HANARART 2021」、Art-Space TARN、奈良  
 2021 「第 28 回 心に響く小品展」、ギャラリーヒルゲート、京都  
 2021 「MESSAGE 2021」、コバヤシ画廊、東京  
 2020 「小さな絵と小さなおうちと小さな木のもの展」、和詩倶楽部 柳小路店 特設ギャラリー、京都  
 2019 「群馬青年ビエンナーレ 2019」、群馬県立近代美術館、群馬  
 2017 「銀座アート動物園 2017」、ギャラリー杉野、東京



---

作家略歴

2016 「若いクリエイターによる合同展示」、The Terminal KYOTO、京都  
2015 「キテ・ミテ中之島 2015」、京阪電車駅構内、大阪  
2013 「はじまりの部屋」、康耀堂美術館、長野  
2012 「奈良・町家の芸術祭 HANARART 2012」、八木札の辻交流館、奈良

【コレクション】

群馬県立近代美術館  
東京 D タワーホスピタル

---

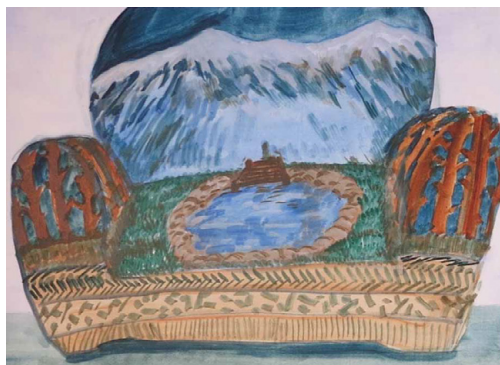
参考図版



1



2



3



4

参考図版



5



6



7



8



9



10

参考図版



11



12



13



14



15



16



17



18

---

参考図版

1. 羽部ちひろ | 『ドローイング』 | 2023
2. 羽部ちひろ | 『ドローイング』 | 2023
3. 羽部ちひろ | 『ドローイング』 | 2023
4. 羽部ちひろ | 『剥製の絨毯』 | 2022
5. 羽部ちひろ | 『夜に散歩』 | 2023
6. 羽部ちひろ | 『眠れない夜』 | 2021
7. 羽部ちひろ | 『壺（滝の中に飛び込む）』 | 2021
8. 羽部ちひろ | 『キツネの T シャツ』 | 2022
9. 赤松加奈 | 『きょうの海のはなし』 | 2022
10. 赤松加奈 | 『オクラ』 | 2023
11. 赤松加奈 | 『セイタカアワダチソウ（風吹く川沿い）』 | 2023
12. 赤松加奈 | 『セイタカアワダチソウ（信号）』 | 2023
13. 赤松加奈 | 『ぐるぐる shot.1』 | 2021
14. 赤松加奈 | 『ぐるぐる shot.2』 | 2023
15. 赤松加奈 | 『ぐるぐる shot.3』 | 2023
16. 赤松加奈 | 『ぐるぐる shot.4』 | 2023
17. 赤松加奈 | 『ぐるぐる shot.5』 | 2023
18. 赤松加奈 | 『ガ』 | 2020

---

次回展

A-LAB Exhibition Vol.43

**A-LAB Artist Gate'24**

2024年5月25日(土)～6月30日(日)

今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展として毎年開催しているもので、9回目となる今回は令和6（2024）年春に大学・専門学校を卒業予定、または大学院を修了予定の方を対象に開催いたします。

平成28（2016）年に初開催して以来、これまで54人のアーティストを紹介してきました。本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一歩となり、今後大きく羽ばたいていくことを期待しています。

※ 出展アーティスト募集中

募集期間 1月4日(木)～2月26日(月)



2024年2月17日 | 土 |  
— 3月31日 | 日 |

A-LAB Exhibition

Vol.42

羽部ちひろ + 赤松加奈  
Chihiro HABU + Kana AKAMATSU



ト  
マ  
ト

に

テ  
ー  
ブ  
ル

Tomatoes  
on the Table



A  
LAB

# テーブルにトマト

羽部ちひろ + 赤松加奈

2024年2月17日 | 土 | — 3月31日 | 日 |

アーティストトーク 2月24日 | 土 | 午後2時 — 午後3時

作品の背景や作品への思いをアーティストに聞きながら鑑賞。定員先着20人。  
メール(amalove.a.lab@gmail.com) で申込必要。  
(イベント名、氏名、年齢、電話番号を明記)

## 羽部ちひろ Chihiro HABU

私はソファやクッション、洋服など日常にあるものをモチーフに描きます。日常にある何気ない物と映画や雑誌で見た写真、SNSで投稿される非日常とを感じる海外の景色なども私自身の中に蓄積されていき、それらのイメージを組み合わせ描きます。近景と遠景を一つの画面に描くことで身近なものから世界の見え方の多様性を表現できればと考えて制作しています。

- |      |                              |                   |
|------|------------------------------|-------------------|
| 1982 | 札幌市出身、兵庫県在住                  | 受賞                |
| 2005 | 成安造形大学洋画クラス卒業                | 2003 第3回武井武雄記念    |
| 2007 | 京都市立芸術大学大学院美術<br>研究科絵画専攻油画修了 | 日本童画大賞            |
| 2010 | 京都市立芸術大学大学院博士<br>課程(後期)満期退学  | パブリックコレクション       |
|      |                              | 岡谷市イルフ童画館<br>京都銀行 |

| 近年の個展 |

- |      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 2022 | 「しらないはなし」<br>KOBE STUDIO Y3(兵庫) |
| 2021 | 「近くから遠くへ」<br>gallery301(兵庫)     |



羽部ちひろ《剥製の絨毯》2022

身近な光景や日常生活に根ざした絵画表現を手がける二人のアーティスト、羽部ちひろと赤松加奈によるコラボレーション展を開催します。当たり前のようにある物やありふれた景色ほど、私たちはよく見ていないものです。でもよくよく見ると、その形や色や組み合わせに、ときに驚くような偶然を見出したり、新たな発見をすることがあります。羽部ちひろは、身の回りの家具や人びとのシルエットに異国の風景をだぶらせ、見る人の視線を遠い想像の世界へと引き込みます。赤松加奈は、農業を通して肌に感じる自然や人との関係の移ろいを、新鮮な造形と色彩で切り取って私たちに見せてくれます。

少し肩の力を抜いて、二人のアーティストの視点に心を泳がせ、日常のきらめきに目を留めてみませんか。その先には、以前とは、ちょっと変わった現実が広がっているかもしれません。

## 赤松 加奈 Kana AKAMATSU

子どもが生まれて数ヶ月が経った。お父さんがじいちゃんに、お母さんがばあちゃんに、夫は父ちゃんに、そして私は母ちゃんになった。そのような具合に、これまで席が決まっていたすべてのものごとは、子どもが生まれた瞬間にフルーツバスケットのようにシャッフルされて、いまは星のように散り散りに広がっている。これからまた新しく出会い、もう一度ひとつひとつ席を決めて新しい形になっていく。

- |      |                           |  |
|------|---------------------------|--|
| 1990 | 奈良県出身、在住                  | 受賞   |
| 2013 | 京都造形芸術大学美術工芸学<br>科油画コース卒業 | 2019 群馬青年ビエンナーレ<br>2019 大賞                 |
| 2015 | 京都造形芸術大学大学院芸術<br>表現専攻修了   | 2018 FACE2018 損保ジャパン<br>日本興亜美術賞 審査<br>員特別賞 |

| 近年の個展 |

- |      |                               |                          |
|------|-------------------------------|--------------------------|
| 2023 | 「土の声を聞き、風とあそぶ」<br>NEUTRAL(京都) | パブリックコレクション              |
| 2021 | 「みんなの部屋」<br>喜多美術館(奈良)         | 群馬県立近代美術館<br>東京Dタワーホスピタル |



赤松加奈《きょうの海のはなし》2022

# A LAB

住所:  
尼崎市西長洲町2-33-1  
会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先:  
A-LAB Tel./Fax. 06-7163-7108  
市役所 文化振興課  
Tel.06-6489-6385  
© @alab\_amalove  
f @amalove.a.lab  
www.ama-a-lab.com



開館時間:  
平日 午前11時 - 午後7時  
土日祝 午前10時 - 午後6時

休館日: 火曜日

入場料: 無料

